



新緑がまぶしい季節となりました。1学期も折り返しを迎え、生徒の皆さんの学校生活にも少しずつ変化が見られる時期です。今月は「定期教育相談」「学校生活適応感調査」「グロウイングハートプロジェクト」と「心の変化に気づくポイント」についてお伝えします。

定期教育相談について

本校では、6月に「定期教育相談」を実施しています。これは、生徒一人ひとりが安心して学校生活を送れるよう、担任の先生とじっくり話す時間です。

相談内容は、勉強のこと、友だち関係、進路のこと、家庭での様子など、どんなことでも構いません。生徒の皆さんには、「話してみることに」から始めてみてほしいと思います。保護者の皆さまも、お子さまの様子で気になることがあれば、ぜひ担任までお知らせください。



「学校生活適応感」調査の実施

山口県教委が山口大学と連携して作成した表題のアンケートを、今週から来週にかけて全校生徒を対象に実施しています。生徒の「学校生活適応感」を客観的尺度により測定するツールで、通称“F i t”（フィット）と言います。

25の質問（友だちのこと・先生のこと・授業のこと・クラスのことなど）に回答することで、①対人適応度、②環境適応度、③学習適応度が数値化されます。これらを参考に学校は、適応感に応じた指導に役立てます。例えば、

- 学校行事への生徒の積極的な参画等、行事運営の工夫
- 声かけ不足がちな生徒への積極的な声かけの実施
- 個別の教育相談における適切な助言での不安・不適応状態の解消
- A F P Yやグループエンカウターの活用による学級づくりの促進
- ソーシャルスキルトレーニングの実践等による社会性の育成 です。

質問例を紹介します。

- (1) 楽しく毎日を過ごしている
- (10) 私に声をかけてくれる先生がいる
- (21) 努力したわりに成績が伸びないと感じる
- (25) クラスにいる時まわりの目が気になって落ち着かないなどです。



☆思春期グローイングハートプロジェクト

先週6月4日、5日にスクールカウンセラーによるグローイングハートプロジェクトを実施しました。「グローイングハートプロジェクト」(GHP)とは、子どもたちの健やかな心を育むために、山口県が独自に取り組んでいるプロジェクト事業です。



ビデオを見て一人で悩まないで、自分の周りに相談できる大人を3人見つけてほしいというメッセージを伝えてくれました。

【今後のスクールカウンセラー来校日】

6月16日(月)9時～15時 ・ 7月16日(水)14時～18時
申し込みは、担任の先生、または、教育相談担当(田村)まで

コラム～心の変化に気づくポイント

思春期の子どもたちは、心の中でさまざまな変化を経験しています。
以下のようなサインが見られたときは、心のSOSかもしれません。

- 表情が暗くなった、笑顔が減った
- 食欲や睡眠に変化がある
- 学校や友だちの話をしなくなった
- イライラしたり、急に泣いたりする
- 「疲れた」「だるい」とよく言うようになった



こうした変化に気づいたときは、まずは「どうしたの?」とやさしく声をかけてみてください。

無理に聞き出そうとせず、「いつでも話していいんだよ」という安心感を伝えることが大切です。

おわりに

教育相談は、悩みを解決するだけでなく、自分の気持ちを整理したり、前向きな一歩を踏み出したりするきっかけにもなります。

生徒の皆さんも、保護者の皆さまも、どうぞお気軽にご相談ください。